



謹賀新年



とべ 飛翔！メインストリーム

もりメイト倶楽部 Hiroshima 理事長 山本恵由美

新年を迎えられる喜びは歳を重ねるごとに大きくなってゆきます。多くの人に支えていただき、ここまでこられたと感謝が込み上げてきます。同じく、「森は私たちの宝物 未来に残したい 伝えたい」と思わせてくれる『森』に関わる人生を送れることは今や至福の喜びに。

1997年に発足して25年、振り返れば「森づくりの先導的な役割を担う存在」でありたいと、森づくりに力を注ぐ地域団体等を応援する定例会の位置づけや、多様な部会の創設、青少年への環境教育など、次々と時代のニーズに応じて進んできました。小さな成果を着実に積み重ねてきたからこそ、広島県等の自治体の森づくり事業などに関わり「行政との協働」は徐々に増え、「企業の社会貢献事業」の一環で依頼も多く、森林教室等、イベントの企画提案から技術指導までを行い、高い評価をいただいています。これらのことは森林活動の実績から生み出される見識に対して大きな信用があればこそ、実現できていると思っています。

皆さんの力で、考え得る全エネルギーを注ぎ、進むべき道を開拓してきた成果が四半世紀を経てようやく実り、当初の「理想に向けて」から『理想の姿』に到達したと思っています。

2023年は癸卯（みずのと・う）。「癸^{みずのと}」は一つの物事が収まり、次の物事への移行をしていく段階。また「卯」は「茂」という時期であり、繁殖する、増えるという段階にあたります。その両方を備えた「癸卯」は、去年までに様々なことの区切りが付き、次へと向かっていく。そこに「成長や飛躍といった明るい世界が広がっていく」と解釈することができると思いました。新しいことに挑戦するのに最適な年とされています。2023年は法人格の取得から10年の記念すべき年でもあります。

そこで3月に成果の区切りとして、お祝いの植樹を計画しています。サクラ属では1915年にオオシマザクラの種名が発表されて以来、およそ100年ぶりの新種の発見となった珍しい「クマノザクラ」を記念に植えましょう。

弊会はある分野で主流となる一群を指す『広島のメインストリーム』。

皆さん！「森づくりの導き手」として、今後の新展開、活躍を大望しています！